



青龍だより



6月号

(2021年6月1日発行, No.23)

常陸太田市栄町58番地

TEL 0294(72)2115

FAX 0294(72)2119



高校 Web ページ



中学 Web ページ

生徒総会

5月7日(金)

今年度の生徒総会は、コロナ対策として、各教室と評議員がいる教室を Zoom で接続して行いました。また、QR コードを各自のスマートフォンで読み取り、全校アンケートを短時間で実施しました。



高校より

ビブリオバトル(1年生)

4月~5月

1年生は探究活動の最初の活動として、全生徒がビブリオバトルを行いました。1年生を5人グループに分けて予選会を行い、準決勝、決勝戦と行いました。決勝戦での様子を、1年生の各教室に Zoom で配信しました。白熱したバトルの結果、チャンプ本は「沖晴くんの涙を殺して」(推薦者:栗田颯姫さん)、オーディエンス賞受賞本は「十角館の殺人」(推薦者:福原瑞菜さん)に決定しました。



決勝戦の様子



教室での様子

LHR 遠足(2年生) 4月30日(金)

2年生は金曜日 LHR の時間を拡大して、クラス別に徒歩で学校周辺を探索しました。場所はクラスごとに異なり、西山公園・佐竹寺・西山荘などを訪れました。晴天に恵まれ、汗ばむような陽気の中、クラスごとにレクリエーションなどを行いました。クラス替えをして初めてのプチ遠足を通して、新しい仲間とのふれあいを楽しみました。



山吹運動公園にて



昼休みの風景

天気の良い日には、中庭で昼食を食べる生徒が多いです。開放感ある場所でリフレッシュできます。



先生からのメッセージ

~Messages from Teachers~

かつて太田の丘には「益習館」という水戸藩の学校がありましたが、その由来には「学ぶこと」で心にも翼が広がるように「可能性」が広がっていくという意味があると言います。当たり前だったことが変化することの多い時代ですが、変化しないものも大切にしたいですね。生徒一人ひとりの可能性を高めるサポートをチームでしたいと思います。



【進路指導部 根本 雄一郎】

“Dialogue for the future”



校長 鈴木清隆

今回は「対話」について考えてみます。日本は長い間、均質な社会とみなされてきましたが、グローバル化やデジタル化の進展に伴い、価値観の多様化、ライフスタイルの多様化、働き方の多様化など、あらゆる面で多様化が進んでいます。組織や社会が抱える問題も複雑になり、解決にあたっては、全員が100パーセント納得できる答えは無いことを受け入れた上で、対話による合意形成を目指すことが当たり

り前になっています。

正解がない時代を生きる私たちにとって、対話力は必須のスキルです。未来を創るための対話であることを共通理解とし、価値観の違いを受容しながら、対話の目的(軸、拠り所)に照らして妥協点を探る必要があります。例えば企業のマーケティングであればペルソナ(商品やサービスの利用者モデル)が軸になるでしょう。本校の場合は、教育理念としての主体性の尊重、そして3つのスクールポリシー(生徒第一、挑戦と創造、地球の視野)が拠り所です。

対話の理想は異なる価値観の融合(=新しい価値の創造)です。そのためには、自分と異なる意見に接したときに、違いがどこから生じたのか、発言者の視点に立って冷静に見極める姿勢と能力が求められます。また、自己の視点と融合できる部分がないか、前向きに捉え、柔軟に思考する度量も必要です。これらは建設的な対話の実践を通して培われるものです。

私の経験では、建設的な対話の陰にはファシリテーターの存在があります。発言を促し、対話の目的に沿った流れを作り出す人のことです。司会や座長とは異なり、特定のメンバーに固定されるものではなく、共感力とサービス精神があれば誰でも担うことができます。洗練された組織では、対話が進む中でファシリテーター役が自然に(自発的に)変わることは良くあります。

本校から、dialogue for the future(未来のための対話)を促進する名ファシリテーターが育つことを期待しています。

附属中より

「探究プロジェクト」

5月13(木)に1年生、14日(金)に2年生が、それぞれ5校連携プロジェクトをスタートさせました。1年生は他校とオンラインが初めての交流だったので、緊張しながらもやりとりを楽しんでいました。



2年生は「職業観」「勤労観」をテーマにした講師の先生の話に真剣に耳を傾けながら、自分の将来の夢の実現に向けての意欲をもつ貴重な時間になりました。

今後も5校連携プロジェクトは続いていくので、生徒たちの様々な力の向上につなげていきたいと思ひます。



県民総合体育大会中学校大会 県北地区大会(陸上の部) 出場

5月28日(金)と29日(土)の2日間で開催されました。附属中として初めての参加で、また新たな歴史が刻まれました。前日には壮行会の開かれ、仲間からの心のこもった応援に勇気づけられていた選手たち。最後まで全力で競い合う姿を見て、本当に感動しました。

会場の雰囲気、緊張感、悔やしき、達成感...それぞれが感じたことは大切な宝です。



日立市民運動公園

陸上競技場にて

